

軽率行動「特定班」名前住所暴露

4/26(日)	27(月)	28(火)	29(水)	30(木)	5/1(金)	2(土)
◆山梨20代感染女性のGWの足取り			高速バスで山梨県の実家に帰省	友人とバーベキュー	PCR検査 整骨院、ゴルフ練習場利用	陽性判明後
味覚・嗅覚異常	部内の勤務先に出勤		知人男性(陽性)と複数回合流			高速バスで都内に帰宅
帰京理由が「飼っている犬が心配だったから」で火に油						

烙印 魔女狩り

広瀬弘忠東京女子大名誉教授
(災害・リスク心理学) PCR
検査はドイツの16分の1で、実際はどこまで拡散しているのかわからない。客観的なエビデンスがない中で、エンドマークがどこにつけられるのか、基準がないまま我

慢を求められる。見通しがないため、恐怖が支配している。一種の魔女狩りで、ステイグマ(烙印)を(らくいん)を負わせ、攻撃するこ

叩く相手探し

確井真史新潟青陵大教授 社会心理学
人ごとではなく、いつ自分が、自分の家族がという自分事として、みんながえたいの知れない不安を抱えている。大型連休なのに外出できないという不満もある。不安、不満が高まると、

攻撃性が高まります。たたく相手を探していて、今回、1人の女性に当たった。多分、自分が悪いことをやっている意識はないと思えます。コロナに関しては感染予防が正義で、それを破るのは悪。寄ったたかかって集団私刑のようになった。出口は見えないけど、みんなちよっと落ち着こうよ。

山梨感染女性炎上

過剰な正義感 不安

「吊し上げ必要」

女性や家族が当初、検査結果が出る前に帰京したと説明していたことや、帰京理由が「飼っている犬が心配だったから」と釈明したこと、味覚異常がありながらバーベキューをしていた

「確認ない」の「オンライン帰省」

が求められたゴールデンウィークで、味覚・嗅覚異常がありながら山梨県の実家に高速バスで帰省、その後、PCR検査で陽性反応が出たにもかかわらず高速バスで帰京した東京都の20代女性がネットで大炎上している。「山梨帰省の20代女性」など複数のハッシュタグがうまれ「特定班」が出勤。「確認はありません」としながらも名前、住所、写真、勤務先などをさらす事態となっている。

人権問題レベル

収束の気配を見せない未知のウイルスへの不安、出口の見えない自粛が続く不満、明るい話題のない鬱々(うつうつ)とした状況が、フラストレーションとなつて、軽率な行動をした女性に集団で向かったとみられるが、攻撃の内容はプライバシーにかかわり、人権問題レベル

ことが火に油を注いだ。「テロ行為です。全て公表すべきです。みんな自粛で頑張っているのに憤りしかありません」「味わかんないのにB.B.Q.つてもう突っ込みどころ満載なんすけど」「救いようのない愚か者。特定されて社会的に終わればいい」「犬のせいにするな」「戒めのためにもつるし上げる事が必要。皆、自粛で苦しんでいる中、許せない」など激しい批判が並んだ。

だ。「(ネットの方が)コロナウイルスより怖い」との声も書き込まれている。「県内55例目の感染者」として女性の症状・経過、行動歴を発表した山梨県では「女性や家族に配慮してほしい」と訴えている。
【中嶋文明】

染した学生が帰国後、ゼミやサークルの懇親会に出席し、クラスターが発生した京都産業大には「大学に火を付ける」「学生を殺しに行く」など脅迫電話、メールが相次いだ。郡山女子大ではエジプト旅行から帰国した女性教授が感染。付属高校の生徒が駅や街中で嫌がらせを受けたほか、大学と高校に約150件の非難や抗議の電話、メールが入った。緊急事態宣言で営業自粛が始まると、営業を続けていないか監視する「自粛警察」「自粛ポリス」が自然発生。通報したり、張り紙などの騒動が相次いでいる。

クラスター発生校には脅迫
自粛警察自然発生

◆新型コロナとパッシング 欧州旅行で感